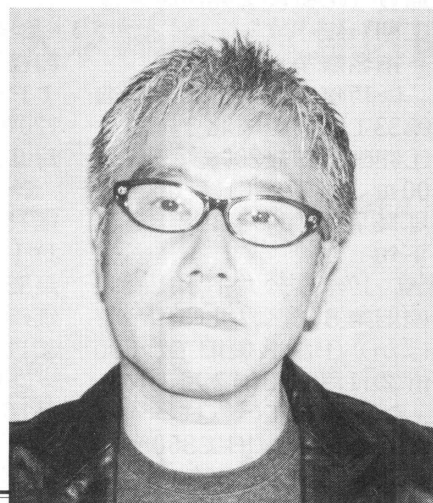


リニューアル&リフォーム

平井憲一建築事務所主宰

平井 憲一さんに聞く

古民家再生



平井 憲一（ひらい・けんいち）さんのプロフィール
独学で建築を学び、昭和53年6月に平井憲一建築事務所を設立。主な受賞作品に第10回奈良建築文化賞奨励賞（作品・天極堂奈良本店）、第17回大阪都市景観建築賞奨励賞（二葉幼稚園）ほか8作品受賞。昭和51年大阪生まれ、54歳。事務所所在地は大阪市中央区安堂寺町2-6-6。

平井憲一建築事務所（大阪市中央区）が設計、日の出組（大東市）が施工した「堺の家」（堺市）が、住宅リフォーム・紛争処理支援センター（東京都千代田区）の「第22回住まいのリフォームコンクール」で、国土交通大臣賞を受賞した。設計を担当した平井憲一建築事務所主宰・平井憲一さんは、リフォームでも特に古民家の再生に取り組んでおり、今回受賞した物件も築後57年が経つ比較的古い建物を再生したもの。合わせて受賞した優秀賞の「河内長野の家」（河内長野市）も江戸文政時代に建てられた古民家だ。平井さんに古民家再生の魅力などについて話を聞いた。（聞き手は報道部＝増田茂樹）

「今回受賞した物件をはじめ、古民家のリフォームに取り組んだきっかけは。「古民家はその土地の風土や気候に併せ、知恵を絞り、考え抜いて造られ、現代の建築にはない技術があります。そうして50年、100年と残る古民家の良さに気付かされたのがきっかけ。昭和55年ごろから古民家の再生に取り組んでいます」

「古民家を再生するに当たったポイントは。「古民家を本当の意味で蘇生（そせい）させるためには、今のライフスタイルに合うようにリフォームす

ることが大切です。今そこで暮らす人が普段着の生活を送れるようなものを造りたいと考えています」

「今のライフスタイルに合うようにというのは、例えばどんな形にするのか。」「古民家というと、和の雰囲気いろいろがあるなど生活まで古い物でそろえるようなイメージがありますが、機能性に配慮し、収納も徹底的に考え、最新の設備を取り入れつつ、便利で使いやすいように再生します。断熱材を使い、柱や基礎などをしっかり補強し、中にはホームエレベーターを設置したり、モダンでス

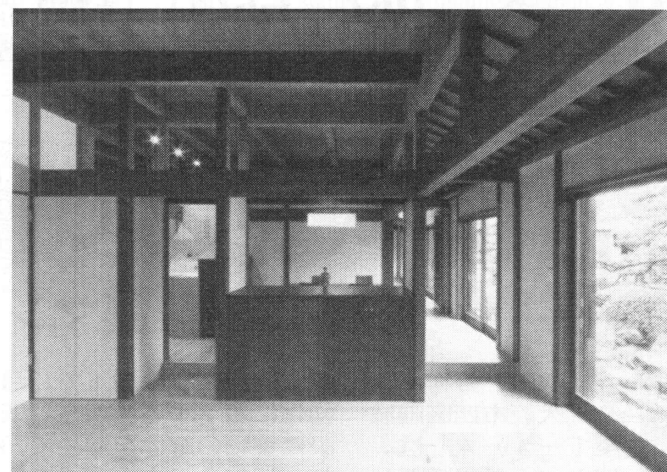
建物見抜く力が必要

今の暮らし大切に

住まいのリフォームコンクールで国交大臣賞

タイリッシュな照明、家具、障子なども取り入れたりします」

「見た目は古民家でも最新の物を取り入れるなどし、変えていくことが重要なのか。」「建物の基本的なところは変えません。古民家には長年使ってきた『記憶』が残っているので、それを感じ取り、いいものはできるだけ残しながら、統一感があり雰囲気を壊さないよう内装の色を決めたり、設備を取り入れることにしています。使える部分が多ければローコストにもなります。そのまま使えるかどう



国土交通大臣賞を受賞した「堺の家」

匠の技に触れ 職人の誇り取り戻す

か、どこにその建物の良さがあるか、再生にはその建物を見抜く力が必要ですね」

「古民家の良さはどういうところか。」「1番の良さはその生命力にあります。また、家の空間が大きくゆったりとした心にさせてくれるところが良いのです。古民家は宝の持ち腐れだと思います。そのままでは不便だし、寒い、古くて危ない。でも、そこをリフォームすれば輝きます。風格や重みが現れる様子を見ると、古民家の再生はやめられなくなりますよ」

「今回の受賞作品でもそうしたことは感じたか。」「古民家がだんだんと息を吹き返すように再生していく様子を目の当たりにし、50年100年前の匠の技

に触れ、多くの職人さんがこの仕事に携われたことがうれしいと感激していました。職人の誇りまでも取り戻すことになりました。そういう意味でも今回賞をもらったのは、職人さんも含め一人一人です」

「今後はどんな仕事をしたいのか。」「『古民家再生ネットワーク』のホームページを立ち上げており、2年間で5万3,000件ものアクセスがありました。多くの人が興味を持っている古民家を規模の大小を問わず、1件でも多く残す仕事をしたいと思っています。それ以外では、今後ニーズが高まるだろう古いビルのコンバージョンや患者が気持ちよく感じるができる医院の設計にも取り組みたいと考えています」

マンション 見積もり参加者募集中

大規模修繕短信 ①管理組合名②工事場所③問い合わせ先④本紙掲載日

【11月30日締め切り】

▷神戸ポートビレジ大規模改修工事(建築工事)
①神戸ポートビレジ管理組合②神戸市中央区港島中町3-1-2③NPO

法人マンション管理組合サポートセンター ☎078(265)0671 ④11月4日
▷神戸ポートビレジ大規模改修工事(設備工事)
①②③④同